



平成22年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月12日

上場取引所 東

上場会社名 北興化学工業株式会社

コード番号 4992 URL <http://www.hokkochem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 丸山 孝雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 渡辺 英夫

TEL 03-3279-5152

四半期報告書提出予定日 平成22年10月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成22年11月期第3四半期の連結業績(平成21年12月1日～平成22年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年11月期第3四半期	31,896	16.8	1,196	—	889	—	457	—
21年11月期第3四半期	27,298	△17.9	△610	—	△833	—	△792	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年11月期第3四半期	16.57	—
21年11月期第3四半期	△28.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年11月期第3四半期	44,883	13,715	30.6	496.83
21年11月期	44,031	13,477	30.6	488.08

(参考) 自己資本 22年11月期第3四半期 13,715百万円 21年11月期 13,477百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年11月期	—	5.00	—	3.00	8.00
22年11月期	—	4.00	—	—	—
22年11月期 (予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年11月期の連結業績予想(平成21年12月1日～平成22年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,650	18.8	740	—	600	—	320	—	11.59

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名

）、除外 一社（社名

）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 22年11月期3Q 29,985,531株 21年11月期 29,985,531株

② 期末自己株式数 22年11月期3Q 2,379,983株 21年11月期 2,372,974株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 22年11月期3Q 27,609,858株 21年11月期3Q 27,617,084株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想に関しましては現時点で得られた情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国の景気好調が持続する中、輸出・生産が主導する形で、景気の持ち直し基調が継続してまいりました。しかしながら、欧州経済の混乱などにより先行き不透明感が強まっていることや円高の進行などから景気回復ペースの鈍化傾向が見られております。

国内農業におきましては、食糧自給率の向上などを目指した「農業者戸別所得補償制度」の一部実施が開始されましたが、高齢化・後継者不足による作付面積の減少や減農薬傾向などに加え、夏の酷暑による農作物への影響が懸念されております。

農薬以外のファインケミカル業界におきましては、わが国経済の景気の持ち直し基調を受け、回復傾向が続いてまいりましたが、前述の状況から需要の停滞が懸念されております。

このような状況の中、当社グループは、農薬製品、農薬以外のファインケミカル製品ともに積極的な販売に努めました結果、全体の売上高は318億9千6百万円（前年同期比45億9千8百万円の増加、同16.8%増）となりました。

利益面では、売上高の増加に加え、一般管理費販売費の節減に努めたことなどにより、営業利益は11億9千6百万円（前年同期は6億1千万円の営業損失）、経常利益は8億8千9百万円（前年同期は8億3千3百万円の経常損失）、四半期純利益は4億5千7百万円（前年同期は7億9千2百万円の四半期純損失）となりました。

事業部門別の概況は以下のとおりです。

【ファインケミカル事業部門】

〔農 薬〕

ファインケミカル事業の主力である農薬製品の販売は、水稲用一発処理除草剤のロングキック並びにエーワン各剤、園芸用殺虫剤サムコルフロアブル10・プレバソンフロアブル5、園芸用殺菌剤アフェットフロアブルなど新剤の販売により売上高が増加した結果、売上高は222億7千4百万円（前年同期比29億4千9百万円の増加、同15.3%増）となりました。

〔農薬以外のファインケミカル〕

農薬以外のファインケミカル製品の販売は、医薬品中間体、防汚剤、自動車排ガス用触媒などの受注が低迷しているものの、電子材料原料、樹脂添加剤、食品飼料添加物などへの需要が堅調であったことなどから、売上高は95億4千5百万円（前年同期比16億5千6百万円の増加、同21.0%増）となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は318億2千万円（前年同期比46億5百万円の増加、同16.9%増）となりました。

【その他事業部門】

石油製品等その他の売上高は、販売量が減少したことにより、7千6百万円（前年同期比7百万円の減少、同8.4%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報**(1) 資産、負債及び純資産の状況**

当第3四半期連結会計期間末の資産の残高は448億8千3百万円となり、前連結会計年度末比8億5千2百万円の増加となりました。これは、商品及び製品の増加が主な要因です。

負債の残高は311億6千8百万円となり、前連結会計年度末比6億1千4百万円の増加となりました。これは主に、未払費用の減少はありましたが、支払手形及び買掛金ならびに短期借入金の増加によるものです。

純資産の残高は137億1千5百万円となり、前連結会計年度末比2億3千8百万円の増加となりました。これは主に、四半期純利益を計上したことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況**(営業活動によるキャッシュ・フロー)**

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、5億9千7百万円の収入超過(前年同期は44億6千7百万円の支出超過)となりました。これは、たな卸資産の増加ならびに未払費用の減少はありましたが、主に税金等調整前四半期純利益ならびに仕入債務の増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、21億6千万円の支出超過(前年同期は19億9千7百万円の支出超過)となりました。これは、主に有形固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、14億2千5百万円の収入超過(前年同期は60億5百万円の収入超過)となりました。これは、主に短期借入金の増加によるものです。

(現金及び現金同等物の四半期末残高)

現金及び現金同等物の四半期末残高は、期首残高より1億7千万円減少し、11億3千6百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年7月12日に公表いたしました、平成22年11月期の通期連結業績予想に変更ありませんが、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

I. 有価証券の減損処理方法

四半期連結会計期間末における有価証券の減損処理にあたっては、四半期洗替え法を採用しております。

II. 法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算出にあたっては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,136	1,306
受取手形及び売掛金	11,569	11,760
商品及び製品	12,481	11,403
仕掛品	364	245
原材料及び貯蔵品	3,198	3,204
繰延税金資産	468	513
その他	281	175
貸倒引当金	△8	△6
流動資産合計	29,490	28,600
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,881	3,534
機械装置及び運搬具(純額)	4,310	3,637
土地	779	781
その他(純額)	394	2,147
有形固定資産合計	10,364	10,099
無形固定資産		
ソフトウェア	72	143
その他	255	260
無形固定資産合計	327	404
投資その他の資産		
投資有価証券	2,486	2,485
繰延税金資産	1,776	2,086
その他	452	370
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	4,702	4,928
固定資産合計	15,393	15,431
資産合計	44,883	44,031

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,376	6,545
短期借入金	8,480	6,777
1年内返済予定の長期借入金	2,042	1,618
未払法人税等	122	94
未払費用	2,380	3,449
賞与引当金	284	—
その他	1,399	1,860
流動負債合計	22,082	20,343
固定負債		
長期借入金	5,531	6,081
退職給付引当金	3,352	3,206
環境対策引当金	39	750
その他	164	174
固定負債合計	9,086	10,211
負債合計	31,168	30,554
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,214	3,214
資本剰余金	2,608	2,608
利益剰余金	8,469	8,205
自己株式	△991	△989
株主資本合計	13,301	13,039
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	707	708
繰延ヘッジ損益	△13	△17
為替換算調整勘定	△279	△252
評価・換算差額等合計	414	438
純資産合計	13,715	13,477
負債純資産合計	44,883	44,031

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)
売上高	27,298	31,896
売上原価	21,248	24,476
売上総利益	6,050	7,420
販売費及び一般管理費	6,660	6,224
営業利益又は営業損失(△)	△610	1,196
営業外収益		
受取利息及び配当金	65	51
受取手数料	107	63
受取ロイヤリティー	49	80
その他	95	92
営業外収益合計	316	286
営業外費用		
支払利息	199	232
たな卸資産廃棄損	214	204
その他	126	157
営業外費用合計	539	593
経常利益又は経常損失(△)	△833	889
特別利益		
固定資産売却益	71	5
貸倒引当金戻入額	4	—
特別利益合計	74	5
特別損失		
固定資産除却損	71	40
たな卸資産評価損	526	—
特別損失合計	598	40
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,356	854
法人税等	△564	397
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△792	457

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,356	854
減価償却費	1,138	1,575
退職給付引当金の増減額(△は減少)	151	146
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3	△29
賞与引当金の増減額(△は減少)	307	284
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5	1
環境対策引当金の増減額(△は減少)	—	△711
受取利息及び受取配当金	△65	△51
支払利息	199	232
売上債権の増減額(△は増加)	4,743	187
たな卸資産の増減額(△は増加)	△790	△1,196
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,128	1,041
未払費用の増減額(△は減少)	△2,174	△1,077
その他	△1,375	△462
小計	△4,352	794
利息及び配当金の受取額	65	51
利息の支払額	△188	△221
法人税等の支払額	△75	△58
法人税等の還付額	83	31
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,467	597
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△800	—
有形固定資産の取得による支出	△1,306	△2,156
有形固定資産の売却による収入	138	12
その他	△29	△15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,997	△2,160
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,391	1,716
長期借入れによる収入	4,000	1,000
長期借入金の返済による支出	△130	△1,113
配当金の支払額	△254	△176
その他	△3	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,005	1,425
現金及び現金同等物に係る換算差額	24	△32
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△435	△170
現金及び現金同等物の期首残高	1,629	1,306
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,194	1,136

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(事業の種類別セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成20年12月1日 至平成21年8月31日)および当第3四半期連結累計期間(自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)

当社グループの主たる事業は、農薬及び農薬以外のファインケミカル製品の製造及び販売であり、当該事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計額及び営業利益の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

(所在地別セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成20年12月1日 至平成21年8月31日)および当第3四半期連結累計期間(自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

(海外売上高)

前第3四半期連結累計期間(自平成20年12月1日 至平成21年8月31日)および当第3四半期連結累計期間(自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。